

部会	R4年度 検討内容			R5年度 検討内容		
	検討テーマ	検討内容、結果・方向性	検討回数・方法	検討テーマ	理由	協力してもらいたい部会
歯科医師会部会	多職種との連携のための研修会について	【検討内容】 連携するうえで、歯科医師側の知識を整理する為の場をつくる。 【結果・方向性】 コロナ禍であるため、歯科医師部会のための講習会を開き、知識の整理をする。	会議 3回 参加人数 延べ 6人	各資料の見直し	様式の作成が、6～7年前となるため、HP上のものからすべてを最も新しい情報にする必要がある。(訪問歯科診療申込書)	
薬剤師部会	「医療用麻薬について」	【検討内容】 介護の現場で医療用麻薬の処方計画されたものもあるが、緊急に処方が必要な案件も。 薬剤師会部会ではタイミングよく医療用麻薬処方に対応するため、会員薬局間の医療用麻薬の分譲を速やかにするべく在庫リストを作成済みです。 実際に会員全体で情報を共有し、分譲する為の必要書類の確認や、法的にも問題なく分譲可能にするため関係先への届など検討した。 【結果・方向性】 医療用麻薬は医薬品の中でも特に法的にも厳しく規制される医薬品であり、会員全体で分譲可能にするのはハードルが高く、部会内の参加者の検討だけでは望んだ形に着地する事は難しい。	会議 4回 参加人数 延べ 8人	在宅医療に関わる多職種の一員として貢献するために	・ACPマニュアル・わたしノートの活用 在宅医療に関わるツールの一つとして「わたしノート」の活用を再度啓蒙、会員薬局への設置も勧める。 活用に関しては「ACPマニュアル」の利用、必要とあれば適任者を講師として例会で説明頂くなど検討。  ・地域ケア地区会議・自立支援サポート会議・在宅に関わる退院時カンファレンス等参加。 在宅医療に携わる多職種のスタッフと積極的に関わることで、利用者様の利益になる情報など相互に、気軽にやり取りできる関係を構築する。	
訪問看護ネットワーク部会				①災害BCP策定 ②安城市ACPマニュアルの活用	①介護報酬改定・診療報酬改定において、業務継続計画の策定が義務付けとなり、各事業所でのBCP策定に取り掛かっている。一事業所だけでは解決が難しい事項について検討を進めており、安否確認方法についての課題が抽出され、訪問看護事業所の連携、他職種との連携等についての構築を図りたい。 ②ACPマニュアル・わたしノートの活用について。いまだ予断を許さない状況が続く新型コロナウイルス感染症の拡大や高齢化が急速に進むなか、在宅医療・看護が重要視されているが、令和4年は新型コロナウイルスの流行で研修会も中止や変更となったこともあり、今後も継続して療養者や市民への啓発に携わってゆく。	
リハビリネット部会				リハビリマネジメントについて	リハビリ職種が関わる患者や利用者の多くは、身体機能障害のみならず、精神、心理的要因(認知機能低下やうつ)や社会的要因(閉じこもりや独居)、抱える疾患が多岐にわたるなど、顕在化する生活課題の背景には、さまざまな要因が複雑に絡み合っている。その対応には、バランスのよいリハビリテーションが提供できているかを、継続的に管理するリハビリマネジメントが重要視されている。 一方で、市内のリハビリ資源には、急性期から生活期までの時期に応じて対応する事業所、医療施設が異なるため、分業となり過ぎる側面がある。そのため、医療、介護連携をシームレスにできるように、リハビリ職種間でのリハビリマネジメントの概念の前提を揃える必要があると考える。	

部会	R4年度 検討内容			R5年度 検討内容		
	検討テーマ	検討内容、結果・方向性	検討回数・方法	検討テーマ	理由	協力してもらいたい部会
小規模多機能部会	家族支援について	【検討内容】 ・各事業所から部会内への、事例共有を行った。 特に対応が困難だった事例や取り組みが各事業所の参考になった。 (親族が遠方、登録のない同居家族の見守り・対応、透析利用者の受け入れ先等) ・各事業所の運営状況の確認や運営方法の共有 ・在宅医療・介護連携のための研修会に向けて、事例の選定 各事業所が作成し、共有した上で決定した。 【結果・方向性】 在宅医療・介護連携のための研修会を通して、部会の中でも内容を深めることができた。特に各事業所の対応を共有し合うことで、自事業所での対応に活かすことができた。 また、多職種の方にも小規模・看他機の取り組みや葛藤を知っていただくことで、アドバイスをいただき、相談もしやすくなった。 各事業所が多職種に相談した事例を部会内でも共有し、対応の参考にしている。	会議 6 回 参加人数 延べ 28 人	①地域での生活が継続できた事例 ②他機関・多職種との連携・支援事例 ③対応困難事例の共有と意見交換	①資源の活用方法や取り組みは、事業所ごとに事例があり共有していくことで支援の幅が広がっていくと思われる。 ②また小規模ならではの取り組みもあり、意見交換をすることで新たな取り組みのきっかけになる。 ③困難事例の共有から、各事業所から意見をもらい解決の糸口を探したい。	
デイネット部会				24年の報酬改定について	BCPや虐待防止などの取り組みが必須なことが多く、細やかな情報共有が必要となる為。	
施設部会	新型コロナウイルス感染症の現状と今後について	【検討内容】 令和4年度中もいくつかの施設でクラスターが発生してしまい、施設の運営やサービスの提供に大きな影響を及ぼしました。クラスターが発生していない施設においても、予防のために面会や外出などにおいては大きく制限しなければいけない状況が続き、入居者やご家族に満足 of いく対応が出来ませんでした。しかし、ターミナル期とされる入居者の面会に関しては、施設毎にフェイスシールド・ガウンの着用、一度に面会できる人数や時間など必要に応じて制限を設けた中で直接面会をしていただけるよう出来る限りの対応をいたしました。新型コロナウイルスワクチンの接種については、施設ごとに進捗に誤差が生じていましたがほとんどの施設で入居者の5回目接種まで実施することが出来ているようです。 【結果・方向性】 新型コロナウイルス感染症が流行してから入居者へのレクリエーションや外出の機会は減少しており、入居者に楽しんでもいただける機会が減少しています。今後も、新型コロナウイルス感染症の拡大に配慮しながら、出来る限り入居者に満足していただけるサービスの提供に努めていきます。 また、施設間での情報共有や協力体制により根本的なケアの質の底上げにつなげていきたいです。	会議 4回 参加人数 延べ 56人  ※第2回(7月26日)新型コロナウイルス感染症拡大のため中止 ※今年度最終開催は3月28日予定	(1)☐コロナ禍における介護サービスの提供に関する状況や情報共有 (2)☐Tの活用、電子化の取り組み	(1)☐コロナ禍における介護サービスの提供に関する状況や情報共有 ●☐コロナ禍において入居者へのレクリエーションや外出の機会が減少しており、入居者のフラストレーションが溜まっている。 ●職員とご家族が面会しない事により、職員のコミュニケーション能力の低下や職員の研修・教育の機会も減っており、ケアの質の低下が懸念される。 ●情報共有や施設間協働により全体の根本的なケアの質の底上げにつなげていきたい。  (2)☐Tの活用、電子化の取り組み ●☐Tを促進し、事務業務の効率化により介護サービスの提供に集中する。 ●間接的業務を減らす事により働きやすい職場環境をつくり、介護人材の確保につなげる。	



部会	R4年度 検討内容			R5年度 検討内容		
	検討テーマ	検討内容、結果・方向性	検討回数・方法	検討テーマ	理由	協力してもらいたい部会
保健福祉部会	「わたしノート」を活用したACP啓発のための市民向けカリキュラムを考える。	【検討内容】 わたしノートの活用を通じたACP理解のための統一したカリキュラムを作るために、まず押さえるべき内容やどのような対象者に向けて啓発していくのか検討しました。カリキュラムの内容として、ACPの基礎理解、わたしノートの書き方、延命治療の種類や内容、もしばなゲームを使った価値観の共有などを盛り込んだ紙芝居風のパワーポイントの資料(シナリオ)を作成しました。実際にシナリオを用いて、ふれあいサロンや老人クラブ向けに啓発を行い、講話者や参加者からの意見をもとに、講話者へのお願いや講話者の心構えを追加し、シナリオを改訂しました。当部会に所属するどの職員が講師を務めても一定水準で啓発できるように「わたしノート住民向けシナリオ説明会」を企画し、完成したシナリオを元に実践デモなどをオンラインで実施しました。また、住民がACPについて学びたいと思ったとき活用できるように、まちかど講座のメニューに入れてはどうか検討し、追加してもらえるように市に依頼をしました。 【結果・方向性】 わたしノート啓発を継続していくために、部会の検討テーマとは別に「わたしノート啓発プチプロジェクト」を作り、シナリオの見直しやわたしノートの改訂に向けた意見の取りまとめなどを行っていく。	会議 15 回 参加人数 延べ 240 人	安城市全体での認知症啓発について考える	在宅で生活する認知症の方は今後も増加すると予想され、当事者・家族ともに地域の中でいかに不安なく生活していくのかを地域の方とともにどう支えていくのか、検討する必要がある。 一方で、安城市では令和3年度より『チームオレンジあんじょう』（認知症サポーター養成講座ステップアップ講座修了生による有志の集まり）という住民を巻き込んだ取り組みが始まった。この『チームオレンジあんじょう』とともにできることを検討したい。	